



宮田中だより 2020年 1月号



横浜市立宮田中学校 電話045-331-5288

71年目の宮田中 ～令和初の年始、本年もよろしくお祝い申し上げます。～

校長 上原 浩

令和2年、2020年が始まりました。2020と言えば東京オリンピック・パラリンピック。東京が開催地に決定したのは2013年9月（現中1が小1の時）のことでした。「お・も・て・な・し」や国立競技場の設計変更、エンブレム騒動は懐かしい話題となってしまいました。昨秋のラグビーワールドカップがそうであったように、スポーツから学ぶ事はたくさんあります。夏が待ち遠しい限りです。

話は変わりますが、恩師から戴いた年賀状にニュージーランドにある火山島の写真が印刷されていました。以前、留学した際に撮った写真だそうです。立ち入り禁止だった時期もあったが観光客が増え、ここで拳式する人もいたとのこと。一瞬、なんでニュージーランドなのかと思いましたが、この火山島が暮れに噴火して被害を出したホワイ島であることに気づかされ、つい一月前の事も忘れていた自分自身に啞然としました。暮れといえば、アフガニスタンで医療と農業支援をされていた中村哲医師が襲われた事件に強い衝撃を覚えたこと、その時分NHKで首都直下地震を特集した番組が約一週間続き、「危機意識を一過性としてはならない」と強く感じたことも思い出しました。

首都直下地震は、2013年12月の内閣府の発表で、首都直下でマグニチュード7程度の大地震が今後30年以内に70パーセントの確率で起きると予測し、被害想定と対策を提言しています。もう6年も前の報告書ですが、なかなか目の前に危険が迫らないと意識は変わらないものです。今回のNHKの特集で、「もし（大地震が）来たらどうしよう」から「来たらこんな行動をして被害を最小限にしよう」「見通しをもって平常な生活が出来るようになるまで頑張ろう」という態勢を築かなければと思いました。ただ、いたずらに危機感を煽ってはいけない。しかし、冷静に備えなければならない。正しい知識を身に付け、主体的に判断する力を育てなければならない。これまで、学校での避難訓練は、「先ずは命を守り安全な場所に移動すること」が主眼に行われてきました。その後のことを学校・家庭・地域で詰めていかなければならないと思っております。地名や昔の芸能人の名前なら忘れても問題はありませんが、「本当に大切だと思ったことは、それを忘れず活用できるようにしなければ」と心に刻みました。

宮田中学校は、昨年10月17日に創立70周年記念式典を終え、71年目を迎えます。戦後の混乱期に多くの苦労があって創立されたことや、先輩方が創り上げた伝統と良さを忘れずにバトンをつないでいきます。70周年のスローガンは「前進 ～未来へつなぐ 笑顔のバトン～」です。

年始早々、物騒な話題になってしまいましたが、宮田の子どもたちに真の「生きる力」を育むために、保護者・地域の皆様、今後ともご支援・ご協力くださいますようお願い申し上げます。



生徒会本部役員 ~よろしくお願ひします。~

昭和26年（1951年）4月に発足した宮田中生徒会の役員選挙が、12/13（金）に行われ、新役員7名が選出されました。選挙会場の体育館には「生徒会歌」と「生徒会憲章」が掲げられ、伝統の重さが伝わってきます。投票は区役所からお借りした本物の記載台・投票箱を使用しています。新役員の皆さんを中心に、「自分たちで学校をよりよくしていく」生徒会憲章の理念に基づき、パワーアップした宮田を創っていきましょう。新役員から一言もらいました。



- 会長 **渡邊 夢来**：私は部活動との両立がしやすい学校を目指しています。しかしそれだけでなく、部活に所属している人もしていない人も、個人の時間を大切にできるように活動していきたいです。私自身も限られた時間を大切にしていきたいです。
- 副会長 **鈴木穂乃香**：公約で言ったように、将来大人になったとき、楽しかったな。またあの頃に戻りたいな。そう思える学校をつくれます。昨年度からの経験を生かし、精一杯頑張りますのでこれからも応援よろしくお願ひします。
- 副会長 **松永 紗英**：応援してくれた皆さんのためにも、より良い宮田中学校がつかれるように精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。
- 書記 **田中 琉梨**：生徒会役員としての自覚をもって、他の役員と協力していきたいと思ひます。この学校をより良くしていくために自分のできることをやっていきたいと思ひています。1年間よろしくお願ひします。
- 書記 **田村 紗彩**：学校全体の雰囲気良くして、みなさんが気分良く過ごすことができるように、精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。
- 会計 **加藤 直樹**：宮田中学校をより活気のある学校にしていくために、学年を超えた交流をつくっていききたいと思ひます。これから1年間、頑張っ活動していきます。よろしくお願ひします。
- 会計 **石川 由唯**：任された仕事は責任をもって取り組みます。そして、みんなが楽しいと思えるような学校をつくれるよう全力で取り組むので、これからもご協力よろしくお願ひいたします。

オリンピック・パラリンピック『カウントダウン企画』



横浜市では、7月24日に開幕する東京オリンピック・パラリンピックに向け、市立学校に通う児童・生徒がレガシー（記憶・経験）を得ることができる事業の一環として、全市立学校を対象としたカウントダウン企画を実施しています。「東京オリンピック・パラリンピック横浜市ウィブ・パーク」のトップパークに掲載するカウントダウンの数字を、市立学校509校で作成するもので、開幕509日目の昨年3月3日から始まっています。**宮田中は、「あと118日」で、3月28日に掲載**されます。本校のカウントダウンパークは、美術部の皆さんが丁寧に制作してくれました。3月28日には是非、上記のホームページをご覧ください。



多くの3年生は、進路に向けた手続きを行っている最中です。一人ひとりそれぞれの進路、日程は異なりますが、誰もがぐり抜けていく関門は、宮中生も必ず通過することができます。1/20（月）には1年間で最も寒さが厳しい時期である「大寒」を迎えます。今年は暖冬気味ですが、くれぐれも体調に気をつけてください。Good Luck！